



全国学力・学習状況調査の結果から

4月に6年生で実施した全国学力・学習状況調査について、豊中市の結果が公表されましたので高川小学校の結果についてお知らせします。

調査は、国語と算数、児童生徒質問紙調査（アンケート）です。学校の調査結果の数値は公表できませんが、調査を通して見えてきた強みや課題について説明します。

国語

<よくできていた内容>

- ・漢字の書き取り（例：キカンは7月1日から15日までです。 答え：期間）
- ・文と文の関係が分かる（例：文①は結果、文②は原因）

<課題>

- ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを文章でまとめる。
- ・文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つける。

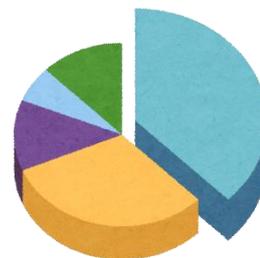
算数

<よくできていた内容>

- ・簡単な計算（ 50×40 答え：2000）
- ・2つの数量について、変化の特徴を表から読み取る

例：いすを重ねたときの高さを調べる問題 答え：69

いすの数(きやく)	1	2	3	4	5
高さ(cm)	45	51	57	63	A



<課題>

- ・求め方や理由を、言葉や数を用いて記述する
（例：2つの三角形について面積の大きさを判断し、説明する）
- ・情報と情報を関係付け、言葉と数を用いて記述する
（例：複数のグラフから違いを読み取って説明する）

児童生徒質問紙から

肯定的回答（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）が高い内容

- ・将来の夢や目標を持っていますか？
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか？
- ・学校に行くのは楽しいと思いますか？
- ・読書は好きですか？



調査全体を通して

漢字や計算、基本的な文章理解や図表の読み取りなどの読解力は、日々コツコツ取り組むことで定着してきていると思われます。

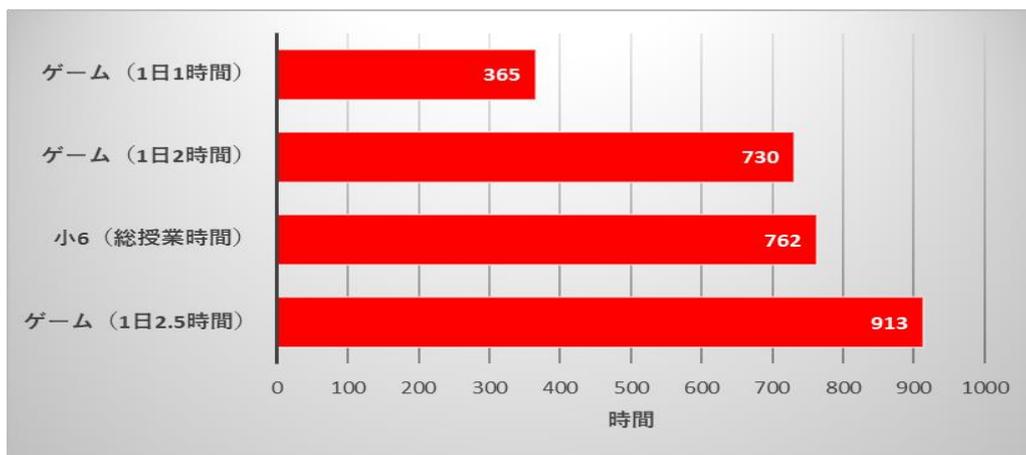
課題としては、以下の2点にまとめられると思います。

- ①文章や資料（図や表、グラフ等）を正確に読み取ること
- ②文章や資料を基にして、自分の考えを説明すること

この調査で測ることができるのは子どもの学力の一部であり、学校教育の一側面にすぎません。子どもたちは、前向きに授業や行事に取組み、それらを通して仲間とのつながりを学んでいます。学校はこの調査結果から見えてきた課題をしっかりと受け止め、子どもたちの学びが、より主体的で・より対話的で・より深いものになっていくよう、授業や学校教育活動の改善を行っていきたいと考えています。

ゲームを1日1時間すると、、、

先日、研修で文部科学省の方の話を聞きました。その中でとても驚いた内容がありました。下のグラフは、ゲームをする時間と6年生の1年間の授業時間を比べたものです。ゲーム（1日1時間）とは、1年間毎日1時間ゲームをするという意味で、1年間で365時間になります。



1日1時間ゲームをする場合は、1年間の授業時間の約半分。1日2時間の場合は、1年間の授業時間と同じくらい。1日2.5時間では、1年間の授業時間を上回ってしまいます。

みなさんは、このグラフを見てどう思いますか？

私自身、スマホをさわらない日はありません。使用時間も1日で合計1時間を超えていると思います。もはやスマホは生活の必需品です。スマホは、さまざまな情報が手に入れられるし、コミュニケーションツールとしても生活や学習に役立ちます。ゲームが息抜きになる側面もあります。

一方で、目的無く見たり長時間使用したりして、睡眠時間が短くなる、視力が低下するなど健康面の影響、情緒面での影響が出てくることもよく言われていることです。

ご家庭では、学校での学習を振り返ったり、定着させたり、深めたりする時間を取ってほしいと思います。ゲームやスマホの使い方として大切なのは、優先順位や使用目的、使用時間をしっかりと考え、自己管理（子どもだけで無理ならご家庭で）することだと思います。